

令和4年8月16日

令和4年度病害虫防除技術情報（第3号）

和歌山県農作物病害虫防除所

イネ紋枯病の発生状況について

県北部および県中部の普通期水稻において紋枯病の発生が平年より多く認められ、8月中旬から病勢が急激に進展する可能性があります。また、大阪管区気象台発表の1か月予報（予報期間：8月13日～9月12日）によると、向こう1か月の平均気温は、高い確率60%の見込みです。本病は、高温（気温28～32℃）、多雨の時に多発するので、今後の気象条件により発生が更に拡大する可能性もあります。ほ場を見回り、観察と防除を徹底しましょう。

1. 対象作物 普通期水稻
2. 対象地域 県北部および県中部
3. 発生時期 7月～10月
4. 発生状況
  - 1) 8月上旬の普通期水稻における紋枯病は、減収などの被害に繋がる第3葉鞘以上の上位葉に発病は認められませんでした。発生ほ場率は42%（平年25%）、発病株率は14.8%（平年3.8%）と高い値でした（表1）。

表1 8月の普通期水稻における紋枯病の発生状況

	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年 (本年)	平年
発生ほ場率 (%)	4	25	38	42	21	33	38	8	25	21	42	25
発病株率 (%)	0.2	3.0	9.5	5.2	2.8	9.8	2.8	0.3	1.5	2.8	14.8	3.8

注) 平年：平成24～令和3年の平均

5. 防除上の注意事項
  - 1) 昨年に紋枯病の発生が多かったほ場や、密植、過繁茂なほ場では、本病が発生しやすいので注意しましょう。
  - 2) 第3葉鞘以上の上位葉で発病すると減収などの被害に繋がります。病斑が上位葉鞘まで達している場合は早急に防除を実施してください。病斑が上位葉鞘まで達していなくても、発病株が多い場合には防除を実施してください。なお、防除を行う場合は、薬剤の使用時期（収穫前日数）に注意しましょう。
  - 3) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用してください。

和歌山県農作物病害虫防除所  
電話：0736(64)2300